

こちら北海道も今年は暖冬傾向となり、雪が少なく『さっぽろ雪まつり』の雪像製作に山間部より雪を運搬している状況です。

最近北海道にも『劇団四季劇場』があることを知りましたが、この3月をもって閉館となるそうです。せっかくなので20年振りに見てきました。大通公園のテレビ塔近くにあり、何度か通っていますが気が付きませんでした。演目はリトルマーメイドで楽しむことが出来ました。

その後、以前から一度は行って見たいと思っていたすすきの交番の近くにある立ち食い寿司『ちょこっと寿司』へ入ってみました。確かに聞いていた通りネタは69円～とはなっていますが、全て一貫の価格です。高級ネタも色々あります。正直こちらはそれなりに値がはりますが、あえてそこは皆様が来店されたときのお楽しみにとっておきます。ビールを飲みながらでしたので、正直立ち食いは30分程度が限界かなと良い経験が出来ました。

皆様も一度立ち食い寿司経験してみてください。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は長野県松本市にある松本城を紹介いたします。久しぶりにお城を紹介したいと思います。

この城は、天守が国宝指定されている5城(松本城、姫路城、犬山城、彦根城、松江城)の内のひとつです。ただ天守の建造年には、天正19年、文禄3年、慶長2年、慶長5・6年、慶長20年などいくつかの説があるようです。

明治5年に天守が競売にかけられ解体の危機がありましたが、地元有力者の尽力で買い戻され解体を免れたようです。また明治30年頃から軟弱な地盤や工法に起因し、天守が大きく傾き始めるという危機も向かえましたが、『明治の大修理』が行われ難を逃れたようです。(やはり古い建造物の維持・管理は大変そうですね…)

お城周辺は松本城公園として整備されており、公園内の色々な場所・角度からお城を眺めることができます。天気がよければ、お城とアルプスの山々を一緒に見ることもできるようです。公園散策しながら、松本城の見学に行かれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-

Vol.216
Feb.2020
KOYORAD

年末のお話になりますが、マリンメッセ福岡にて開催された『福岡モーターショー2019』へ行ってきました。

『人とクルマが 繋がる未来』とのテーマを元に、出展されているメーカーは国内四輪ブランド8社、海外四輪ブランド17社などそうそうたるブランドばかり。現行車両やスポーツカーはもちろんですが、特に今人気になっていたのは近未来のコンセプトカーです。自動運転はもちろんのこと、車内での居住性を追求したものや、中には移動中に診察を受けられるという車なのか病院なのか救急車とはまた違ったコンセプトを持った車もあり、見るもの全てが新鮮で斬新でした。その中で特に気になった車が『ダイハツTsumuTsumu』です。(ゲームではありません…)このTsumuTsumuは従来の軽トラックにとって代わるクルマとして開発されたようで、面白いのが後ろに搭載されている荷台が交換可能なこと。荷物を積み込む荷台としてはもちろんですが、農業用ドローンを載せる基地に変えることができたり、はたまた居住スペースとしても使用が可能。目的ごとに荷台を付け替えるという発想が非常に興味をそそられました。

他にも海外ブランドの高級車やスポーツカー、ケンメリなどの旧車や自衛隊で使用されている車両、また私が小さいころに流行ったチョロQまであり、目の保養から勉強まで良い時間を過ごせました。2年に一度の開催なので、次は2021年。どんなクルマに会えるのか楽しみにしたいと思います。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

東日本営業本部となって既に半年が過ぎ、私自身も東北にもほんの少しですが行くことが出来るようになりました。ですが、まだまだ東北1年生、もっと東北を知りたいと思う次第です。

移動はもっぱら社用車です。とにかくものすごく広いのと、とても長い距離をクルマで走り回りました。ぐるっと1周はしました。最近も行って来たのですが、合併し東日本営業部となってから初冬で大雪を想像していました。しかし、全くの晴れ時々曇り空で、今年の暖冬は本当に雪が降らないんだなと思いつつ、雪国らしくない東北を走り、お客様周りをさせていただきました。

空気が綺麗で水も美味しく、自然豊かでも食べ物も美味しく、私の故郷九州と全てが重なる感じで、懐かしさを覚えます。夜は夜で美味しいお肴とお酒でおもてなす、なんともゆっくりとした時間を過ごすことができます。近頃は鮎鱈鍋が最高に美味しかったですね。

東北絆祭りも各地で開催されますので、いつかはこのお祭りにも出会えると嬉しいです。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

新年、初詣は愛知県に帰省して家族で行く事が定例ですが、今回、関西に戻ってからも御参りしたいと言う事になり、今回は京都の大豊神社に参拝しました。

この神社は狛犬もいますが本殿脇には狛ねずみがあります。今年の干支は子と言う事もあり、いつもより参拝者が多いとの話もあり、三が日が開けて2週目に行きましたが、やはり凄い人。参拝待ちで参道の階段で並ぶ。数分経つと私たちの後ろにもズラッと列が伸びている。後ろの列を見ると逆に途中で抜けがたい。並んでいると約1時間でようやく御参りが出来ました。参拝時に左右の狛ねずみの写真を撮っている方が非常に多く、私も手前に並んでいる時点で写真を撮り、時間を掛けない様に配慮しながら御参りました。

なぜ、ねずみ?と思いますが、ちゃんとした由来があり、この神社の祭神は大国主命ですが、古事記によると大国主命は、ねずみによって助けられたとの逸話から、この神社では2体のねずみが対になって大国主命を守護しているとの事。帰りに参道を降りて行くと私たちが並んでいた長さと同じで列があり、外に出て神社の場所を聞かれる事もありました。子年は参拝者が非常に多くなるのもうなずけますね。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)



最近インドネシアでは友達とのコミュニケーションチャットはSNSよりWhatsAppかLINEが多いです。

個人チャット、チャットグループがあります。個人チャットは二人だけでチャットしますが、チャットグループは何人かのメンバーでチャットします。最初チャットグループを作るときは、特別な目的があり作られています、知らないうちに話が展開され目的から外れてしまうことが多いです。

何年前か、中学の友達のチャットグループに誘われました。何十年も会っていなかった友達で、もの凄く嬉しくて色々チャットしていました。話すテーマも色々あり、軽い話から重たい話まで。テーマによって意見の違いがどうしても出ますが、人間関係まで悪くはなりません。しかし、政治や宗教の話は大きく意見の違いが出やすいです。目的から外れた話でついつい熱くなり、友達関係が悪くなった結果、グループチャットから抜けてしまうことがあります。チャットでの意見の違いで気持ちを整理できず、人間関係が悪くなることは残念でもったいないことです。

また二人での話をグループチャットで行い、見ている他のメンバーは作中に二人の個人的なチャットが入ってきて気分を害することがあります。そういう時、グループから抜きたいと思いますが、抜けると他のメンバーに分かるので悩みます。

最近自分の許可無しでチャットグループに入れられたことがあります。失礼だと思いましたが、これも普通のことのようです。出来ればあまりグループ招待が来ないように設定したいですが、その機能は無いようです。特にWhatsAppではその機能はありません。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

年が明けてあつという間に時間が過ぎていく様に感じられます。今年の日本は暖冬だと聞いていますが、いかがお過ごしでしょうか?!ここカリフォルニアでは週ごとに暑くなったり寒くなったりと着るものに困ります。

さてこの時期のアメリカでは何と言っても圧倒的な人気を誇るスポーツの祭典『スーパーボウル』が注目されています。今年のスーパーボウルですが、50年ぶり3度目の出場となるAFC王者のカンザスシティ・チーフスと7年ぶりにNFC王者に輝いたサンフランシスコ・49ersの対戦となります。日本でも多少話題にはなるとは思いますが、なかなか人気は定着しませんね。その理由はやはりプロリーグが無いことと日本人プレーヤーがNFLに存在しないことでしょうか?!ルールもよく分からないとの声も聞きますが、基本さえ分かればあとは超人的なプレーや緊張感を楽しめる事は間違いないと思います。

全米で1億2千万人以上が視聴し、試合だけでなくハーフタイムショーや

その間に流れるCMIにも毎年注目が集まります。CMではその年のブームを先取りするように企業も力をいれています。宣伝費はなんと30秒で700万ドルするとも言われています。

ハーフタイムショーが特に注目を集めるようになったのは1993年マイケル・ジャクソンのパフォーマンス以降だそうですが、その後は世界のトップアーティストが出演するようになりました。過去にはプリンス、マドンナ、U2、ポール・マッカートニー、レディ・ガガ、ビヨンセなどなど。有名な話で出演料はタダであくまでもアーティスト達は名誉のためパフォーマンスを披露するとの事らしいです。

因みに今年のアーティストはジェニファー・ロペスとシャキーラの2大ラテン系歌姫です。今年は開催地がマイアミという南米系の移民が多く住む町というのも関係しているのでしょうか???

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

～傘シェアリング～

シェアすることは良いことですが、全てにおいて良いとは限りません。

このプロジェクトは、シンガポールでは2018年からすでに始まっています。コンセプトは優れているのですが、残念ながら進捗状況は良くなく、限られたエリアでのみ利用可能です(15ヶ所のみ)。傘使用後の返却に問題があるため、使用者を引き付ける魅力が足りません。このサービスは、7ドルで傘を借りられ、24時間以内に返却すると6.5ドル返金されます。

また、傘シェアリングで無料提供している別サービスが、郊外(一部の住宅地周辺のみ)で開始されています。傘は鍵などなく設置され、人々の良心に基づいて使用・返却されます。しかし、残念なことに最初の数日で誰も返却せず、全ての傘が無くなりました。無料傘シェアリングを提供する意図は、制御が簡単な小さいコミュニティに適しているからですが、現実とは異なります。人々は無料を好みますが、責任は負いたくありません。貰うだけで、与えたくはないのです。

社会の一部のそのようなメンタリティを変えるにはまだ大きな仕事が必要です。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

～丸い団子と丸い月～

白玉粉でできた丸い団子の中身はゴマや小豆、ピーナツなどのあんがつまったほんのり甘い味付け。そして空には丸い満月のお月様。日本の小正月は最近ではあまり祝うこともなくなりましたが中国では『元宵節』として春節後に祝う大切な祭日です。中国では日ごろの業務は太陽暦に則っていますが、旧暦に沿った習慣も人々の生活に多く残されており、歴史文化の深みを感じさせてくれます。

2020年は1月24日が春節(旧暦の1月1日)であり、そこから数えて15日目、つまり2月8日が元宵節でした。新しい年を迎えてから最初の満月です。丸い団子と丸い月、そして街へ出ると商店街や賑やかな通りには提灯がいっぱい飾られ、満月の夜にさらに彩りを添えます。

漢の時代に文帝が正月の15日、戦いに勝利したことを民衆とともに祝おうとして始まった行事だそうです。その後、時代を経てさらに大きな行事になり、町のあちこちに火をともした提灯が飾られるようになりました。そこで元宵節のことを『灯節』とも言うようになり、海外では『ランタンフェスティバル』として知られています。

太陽暦でのお正月、そして旧暦の春節。中国で生活をすると年末年始を二回迎えるような気分ですが、日本では薄れつつある旧暦の祭日や習慣、そしてその由来に想いを寄せながら過ごすのも味わい深いものです。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

～ファン・ゴッホ・サイクルルート～

ご存知かもしれませんが、オランダではサイクリングが非常に人気であり、ここ数年でさらに人気が高まっています。そのため、美しい環境や特別に設計されたサイクリングできる多くの素晴らしいスポットがあります。

例えばアイントホーフェンには美しい自転車道があります。これは画家ゴッホの『星月夜』にインスパイアされたユニークな自転車道です。その理由は夜、暗くなると分かります。光と色のデザインです。友人から素晴らしい経験だと聞き、体験するため自転車をレンタルしました。この道は、インフラに関するオランダ最大の企業によって造成されました。この道は、何千もの発光する石で照らされています。

そしてこの道は、ゴッホの故郷まで繋がっています。自転車道だけでなく、この景色はゴッホ作品のベースです。このエリアの絵を描いたり、関連する作品を作成したりするなど、素敵な風景からインスピレーションを得ていました。またこのルートでは、ゴッホの美術館を訪れることもできます。とても素敵で印象に残る美しい場所でした。

KIO(オランダ)(Jan van Mier)